

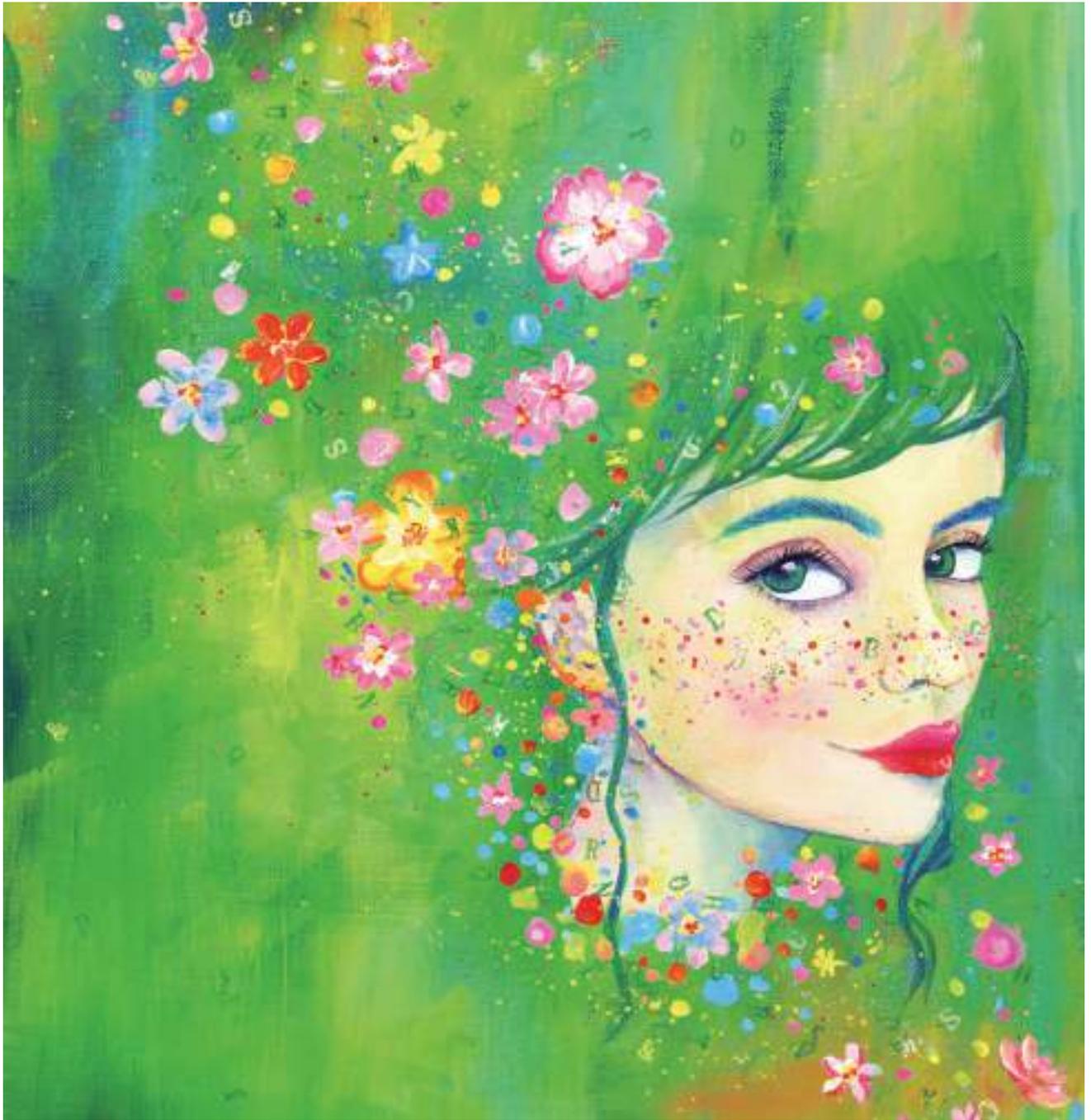
つなぐ

ふるさと宇和島／南予

春号

2020 No.10

ご自由にお取りください



特集

宇和島駅のこと

インタビュー やまこうどん 二代目店主 島内 純代

C o n t e n t s



松野町吉野生駅 (撮影/北濱一男)

- 01 エッセイ「宇宙と俳句と私」 石口 孝治
- 02 インタビュー やまこうどん 二代目店主 島内純代 「十年一日」
- 04 特集 宇和島駅のこと
 - 05 南予の鉄道史
 - 06 大竹伸朗「宇和島駅」
 - 08 大和田建樹と活字の中の宇和島駅
 - 09 宇和島駅周辺あれこれ
- 11 撮り歩きなんよ「小越のしだれ桜」 北濱一男
- 13 ふるさとの **カタチ** 卯之町 フラワーショップ西川
- 14 2018 ミシュランプレート選定店 馳走 三原
- 15 ツナグ昭和館 丸木舟と森岡天涯 田部 司
- 16 南予の祭り歳時記 **NEW** 「伊予神楽」 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本 敬久
- 17 金融 自分で作る年金制度 **NEW**
- 18 歯周病と全身疾患 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 19 ふるさとの味が美味しい味！ 広島修道大学 教授 藤井 文子



表紙 / 「Girl4」

作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ、愛媛県宇和島市出身。子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作でしかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。現在は個展やイベントへの出品等で活動中。

つなぐ新春号 No.10

〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21

0895-23-7000

年4回発行 (季刊誌)

配布先 / 宇和島信用金庫各支店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

本誌掲載内容の無断転載を禁じます。

私は宇和島市津島町の山間に生まれ、小学生時代をそこで過ごしました。山に囲まれた空はとても狭く、川のような形をしていました。それでも夜空はとても澄んでいて、天の川がくっきりと見え、星空観察には絶好の環境でした。子どもの頃は、北斗七星の二重星を肉眼ではつきりと見ることができました。最近では全く見えなくなってしまう、叔父と二人で空の汚れを嘆いていたら、従妹に「あんたらが年取ったけんよ」と言い切られてしまいました。その事実を認めたくはないけれど、確かにそうかもしれません。そんな環境で育った影響で天文学者に憧れていました。天文学者には成れませんでした。宇宙好きが幸いして、今では宇宙研究者達と仲良くなり、彼らを私が企画した講演会に講師として招き、最先端の研究成果を講演してもらっています。その中で驚く話をひとつ。我々は今、3次元空間に住んでいます。ところが最先端の研究では、宇宙が誕生した時は9次元空間だったのです。残りの6次元はどこにいったのでしょうか？超弦理論という物理学の計算では、残りの6次元は宇宙の成長の過程で観測できない程コンパクトに縮んでしまったとのこと。計算ではそうでしょうが、観測できないなら確かめようがありません。なんて困った理論でしょう。ではなぜ9

「宇宙と俳句と私」

石口 孝治



冬の大きな三角と天の川

次元空間が生まれたのか？ これには面白い仕組が隠されています。1+2+3+4+5+・・・と自然数を無限に足して行くと結果はどうなるのでしょうか？実は数学の特殊な関数の計算では、「1+2+3+4+5+・・・」とされるので、でもこの結果から9次元が導き出されるのです。なんだか狐につままれたような気持ちになりますね。これは、まだまだ理論上の話ですので真実はわかりません。そんな不思議が満ち溢れた宇宙は、本当にチャームングな場所だと思いませんか。さて、そんな宇宙好きでバリバリ理系の私ですが、高校に入学してから徐々に俳句に嵌って行きました。そのきっかけは、国語の先生から教えてもらった俳句との出会いでした。それは、松野町出身の俳人芝不器男の

あなたなる夜雨の葛のあなたかな

でした。私はこの句を聞いた時、新鮮で強烈な郷愁の感覚に襲われたのを今でも覚えています。この句の空間と時間の表現の素晴らしさから、作者は理系だと直感しました。事実理系でした。同じ理系として、このような俳句を作りたいと思いました。

その後、東京で句会に参加して細々と俳句を作っていました。納得する句は作れませんでした。そんな中、幸運にも

高校の同窓会で、夏井いつき組長と出会いました。その時のお題は「同窓会」。そして私の詠んだ句が

行く人に留まる人に蟬時雨

でした。私には、同窓会での校歌や応援歌が、蟬時雨のように「熱いもの」に感じられました。この句にいつき組長から良い評価を頂き、ご褒美として著書を頂きました。これは私にとって、俳句を作り続けて行く強いエネルギーになりました。それ以来、毎年欠かさず同窓会に出席しており、宇和島市で毎月開催されている、いつき組「じゃこ天句会」にも参加させて頂き、今も俳句を作り続けています。最後に宇宙好き俳人として一句

星々の神話に戻る枯野かな



石口 孝治 いしぐち こうじ

1958年 津島町(現宇和島市)生まれ
宇和島東高校卒業
東京大学大学院新領域創成科学研究科修士
原子力規制庁伊方原子力規制事務所 上席放射線防災専門官
伊方町公営「未咲輝塾」の非常勤講師
趣味は、料理(餃子は得意)と俳句(いつき組)

十年一日

やまこうどん 二代目店主 << SHIMAUCHI SUMIYO 島内 純代

暖簾も看板もない。営業時間は朝5時から9時まで。まさに知る人ぞ知る「やまこうどん」は、微かに漂う出汁の香りがなければ、そこが、うどん屋とは誰も気がつかない。ようやく見つけた引き戸を開けると湯気の向こうに変わらない「やまこうどん」の日常がある。メニューは、うどんのみ。昆布と地魚の削り節からとった出汁に柔らかい細麺、その上に地もの小エビの自家製かき揚げ、宇和島名物じゃこ天と蒲鉾の切り身、それに刻みネギがある。

「去年消費税が上がった時に常連さんたちは10円ほど値上がりするやろうか?」と思えば「よしよし、やけど、値上げせんかったけん『偉いやないか』言うて褒めてもうろうた」と店主の島内純代(以下純代さん)さん(68歳)は笑う。

「やまこうどん」は、昭和30(1955)年に純代さんの母一三さんが創業して今年で65年になる。その変わらない味と独自のスタイルはSNSや口コミで広がり、今や多くのメディアにも取り上げられ、全国からお客さんがやってくる宇和島の有名な店だ。

純代さんが幼い頃、母が内職で夏はかき氷、冬は焼き芋を売っていたが、どれも評判がよく売れた。そんな時、築地の料亭で板前をしていた母の幼馴染から「出汁のとり方を教

※1) SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) とは、インターネット上で人と人とのつながりや交流を楽しむコミュニティ型の会員制サービス

えてやるけん、うどん屋でもやったら…」と始めたのが「やまこうどん」だ。

店の規模も庭先に椅子やテーブルを並べた程度で今とほとんど変わりはない。今も厨房に残るカマドに製材所から大鋸屑を取り寄せ燃料に使っていた(2トン車1台分が1ヶ月分)で店の横に大鋸屑を入れる倉庫があった。

当初は人も雇い、出前が中心で朝から夕方まで営業していた。メニューも、うどん2種類にチャンポン、夏は、かき氷もあつて繁盛していた。しかし、40年ほど前、母も高齢になり、それまでのやり方が維持できなくなり、徐々に今のスタイルへと変わっていった。

看板も暖簾もない理由を聞くと「母が始めた頃は、麵屋さんとかが暖簾をくれたりして、出しとったんやけど破れたり、風で飛ばされたり、お客さんから『店に入るのに邪魔になる』とか言われる内に、段々と出すのが面倒くそうになったんかな? 特に理由はないんよ」と言うことらしい。

そして、平成元(1989)年、母から「やまこうどん」を引き継いだ。当時はバブル景気真っただ中。客の多くは、仕事帰りに立ち寄るクラブやバーのお姉さん、麻雀帰りの人など、夜をまとった人々で賑わった。

しかし、その後、街の景気が陰り始めると、まず燃料の大鋸屑が調達

※2) 吉村 昭 (1927-2006) 東京都出身。学習院大学在学中に執筆活動を開始。昭和41年(1966)に「星への旅」で太宰治賞を受賞。同年「戦艦武蔵」を発表し、ベストセラーとなる。日本芸術院賞ほか多くの賞を受賞。生涯で宇和島を50回以上訪れ、「海の鼠」「闇にひらめく」など宇和島関連著書も多数ある

しにくくなり、やむを得ずカマドをひとつだけ残し、ガスに切り替えた。そして、客層も出勤途中のサラリーマンや散歩帰りの人たちへと移り変わっていった。

この店には多くの著名人が訪れているが中でも作家の吉村昭は店名こそ出していないものの、複数のエッセイに「やまこうどん」のことを書き残している。その証拠の品と言え、店内の壁に掛かる『朝のうどん』と書かれた小さな色紙だ。

純代さんによると

「吉村先生は、とても無口な方で、いらした時に『お久しぶりですね』と声をかけると『また来ましたよ』とニコッと笑顔で応えられて、いつもの席に座さるんよ。人伝えに『めつたなことではサインはしない』と聞いたことではサインはしない」と聞いたことだけ、お願いしたことはなかったんやけど、ある時、常連のお客さんのひとりから『すごい有名なエライ先生やけん、お願いして色紙にサインしてもらえ』と背中を押されて、母と一緒に定宿を訪ねて書いてもらうたんよ。そして先生からは、『全国に美味しいうどんは、いくつでもあるけど、この雰囲気はここしかない』言うて、ありがたやな。そして、何年前やったか先生の色紙が他にない珍しい物やいうことで、東京の吉村昭記念文学館の学芸員さんが、わざわざ来さった」

最後に苦労話のひとつでもと、聞いてみると

※3) 吉村昭エッセイ集『わたしの普段着』に同名のエッセイが掲載され、色紙のエピソードにも触れている

「うちの店は『十年一日』、来る者拒まず、去る者追わずのスタイルでしたし、何も変わってないんよ、言えれば、『お客さんに支えられてきた店』言うことよなあ。このやり方に馴染めんお客さんは来なくなるだけやけん全くストレスはないなあ。幸い10年ほど前から実の姉が手伝ってくれよるんやけど、後継者も居らんし私も母がリタイヤした歳に追い付いたけん、いつまで続けられるか分からんけど、身体と気持ちが続くかぎりは頑張ろうとは思っています」

「やまこうどん」に気取りは一切ない。この店を訪れる人々を見ていると、彼らは、うどんを食べるといふよりも、この店を味わいに来ているように見える。様々な人生を抱えた人々が朝のわずかな時間集まり、やがて自分の日常へと返っていく。



「やまこうどん」のことは『わたしの普段着』『味を追う旅』『街のはなし』『蟹の縦ばい』に収められている。



メニューは昆布と削り節でとった出汁に自家製のかき揚げとじゃこ天、蒲鉾が添えられた「うどん」380円のみ

厨房の中にある珍しいカウンター席には常連のお客さんが座る

店の壁に掛かる吉村昭直筆の「朝のうどん」の色紙が座る

プロフィール／ 1951 (昭和 26) 年 宇和島生まれ 1989 (平成元) 年により母より「やまこうどん」をバトンタッチし、今年で創業 65 年

やまこうどん／宇和島市錦町 1-7 TEL.0895-22-2315 営業時間／ 5:00 ~ 9:00 定休日／日・祝日

宇和島駅のこと

かつて、先人たちが「地方の交通と文化を開拓したい」との熱い志のもとこの地に鉄の道を敷き、その道は、やがて高知へと続くはずだったが歴史はそれを許さず、宇和島駅は終着駅となった。



南予の鉄道史



弓瀧神社（ゆみたき 鬼北町国遠）に奉納されている窓峠（まどのとうげ 三間町務田）工事の写真。宇和島鉄道の唯一の窓峠トンネルは、沿線工事最大の難工事と言われた。南予初の鉄道トンネル。

南予における鉄道敷設運動の起
こりは北宇和郡好藤村（現北宇和
郡鬼北町）の今西幹一郎が中心
となり「四国循環鉄道」の必要性
を訴え予定線を調査したことに端
を発する。

今西幹一郎は、国鉄敷設が一向
に進まない中、「私鉄でもいいか
ら地方の交通と文化を開拓したい」と宇和島の石崎忠八らに協力を呼び掛けた。しかし、その予算を地
方だけでは到底賄えない、そこで
吉田の村井保固らの協力を得て、
井上角五郎や根津嘉一郎ら中央財
界人からの援助をとりつけ、明治
41（1908）年に宇和島鉄道株式
会社が設立した。

こうして大正3（1914）年、
宇和島と近永間の宇和島鉄道が竣
工し、それに合わせて現在の城北
中学校付近に駅舎が完成した。開
通当時、近永までの所要時間は約
1時間40分、運賃は大人29銭。馬
力の弱い機関車は光満谷の坂に差
し掛かると速度が落ちて道路を走
る人と競争できたという（このド
イツ製の小型機関車のレプリカは
宇和島駅前展示してある）。

また、機関士も呑気なもので途
※1）今西幹一郎（1846～1927）好藤村長・県会議員・衆議院議員・実業家で、宇和島鉄道・宇和永力電気を創設した。庄屋今西家の長男に
生まれ、実業家今西林三郎は弟。

中、株主や村の有力者たちが手を
振ると停車場でなくても汽車を止
め乗せてくれたという。その後、
大正5（1916）年に宇和島駅は
現在の場所に移され、大正12（1
923）に二代目、堀部彦次郎社
長によって北宇和郡吉野生村まで
延長された。

三代目、山村豊次郎社長は「宇
和島鉄道を国鉄に買収させれば四
国循環鉄敷設の基点ができる」と
いう持論を大きく推進し、宇和島
鉄道の国鉄買収を実現させた。よ
うやく宇和町、宇和島間が開通し
たのは昭和16（1941）年だった。
この時点で南予の未建設路線は八
幡浜、宇和間を残すのみとなった。

その2年後、ようやく八幡浜、
宇和間の建設工事が着手が決定した
ものの労働力と鉄材の供出が大き
な障害となった。とりわけ線路に
使う鉄材調達の見途が全く立たな
い。そこで、当時の宇和島市長、
上田宗一は宇和島、吉野生間の線
路を代用しようとする周辺住民と交渉
を始めたが猛烈な反対運動に合い
断念。いよいよ打つ手なしの状態
になり、最後の手段として親交の
あった伊予鉄道の太宰社長に「松

山、高浜間の複線を単線にして、
その鉄材を払い下げてほしい」と
交渉した。これには福本愛媛県知
事からの支援も受け、どうにか承
諾を得ることができ、予讃線全通
に向けて大きく前進した。

こうして始まった工事だったが、
戦時下で徐々に労働力不足が顕著
になっていった。そこで北宇和、
東宇和、西宇和三郡の青年団を動
員し労働奉仕することになり、男
性は建設現場に女性は炊き出しや
雑役を担った。また、宇和島では
市長、助役、市議会議員をはじめ
多くの市民が順番で八幡川原から
砂利を採取し、北宇和島駅まで運
び、それを工事現場まで輸送した。
このことを筆者の津村は「この崇
高な奉仕精神と激烈な労働に堪え
る真剣な態度とは実に涙ぐましい
ものがあつた」と記している。

協力
：鬼北町 弓瀧神社
：三間史談会 松本 敏幸
：株式会社エフオート
参考資料
：「宇和島の明治大正史（前編）
津村寿夫／著」

大竹伸朗 「宇和島駅」



「瀬戸内国際芸術祭 2013」で丸亀市の猪熊玄一郎現代美術館で開催された「大竹伸朗展 丸亀 ニューニュー」で同美術館の屋根に展示された「宇和島駅」。このアングルから右方向を見ると JR 丸亀駅がある。

昭和26(1951)年から平成8(1996)年までの45年間、宇和島の玄関口、宇和島駅の駅舎屋上に設置されていた「宇和島駅」のネオンサインを覚えている方も多いと思う。それが宇和島在住の世界的現代アート作家、大竹伸朗の手によってアートとして生まれ変わっている。

平成18(2006)年、東京現代美術館で開催された大回顧展「大竹伸朗 全景 1955-2006」では、地下1階から3階までの企画展示室全フロアが使われ、約2千点もの作品で埋め尽くされ、屋上には「宇和島駅」が展示された。
※ 同名の図録には、大判の展示写真とともに「文字の狼火」と題して昭和35(1960)年に封切られた映画「南海の狼火」(監督・山崎徳次郎)の中でみた「宇和島駅」のこと、旧宇和島駅取り壊しを知り、ネオンサインを譲り受けた工ピソードや新潟での個展準備中に「宇」「和」「島」「駅」の4文字が頭をよぎり作品化つながったことなどが記されている。

私が「宇和島駅」を作品として初めて観たのは、香川県で開催さ

れた「瀬戸内国際芸術祭 2013」での「大竹伸朗展 丸亀 ニューニュー」だった。同芸術祭では、猪熊玄一郎現代美術館、高松市美術館、女木島の3か所で大竹伸朗展が同時開催された。

見慣れたはずの「宇」「和」「島」「駅」の4文字が、丸亀駅の真ん前にある猪熊玄一郎現代美術館の屋上に堂々と展示されている様子を観て、誇らしいような、なんとも不思議な感覚に包まれたのを覚えている。



※ 「大竹伸朗 全景 1955-2006」

9,900 円 (税込) 大竹伸朗 / 著

岩崎書店で購入できます。

宇和島市錦町 4-16
TEL : 0895-22-0528



旧宇和島駅舎の屋上には「宇」「和」「島」「駅」のネオンサインが赤く輝き、ベンチに座る人々の様子や周辺の街明かりから終着駅の哀愁が漂う。
 関係者の話によると、昭和30年代中ごろから40年代（1945〜55）中頃に旧宇和島電電公社のアテナから許可を得て撮影されたものらしく、手前の三角屋根は、現在5階建てのビルになっている宇和島自動車の社屋とのことだ。また、宇和島駅のネオンサインの下に懐かしい電話ボックスも見える。

（撮影：吉田タケオ）
 ブログ「宇和島の散歩道」より
<https://seikou38.com/uwajima/>



宇和島城デートの小林旭と浅丘ルリ子

南海の狼火（なんかいののろし）

監 督 山崎徳次郎

キャスト 小林旭 浅丘ルリ子 穴戸錠

岡田真澄 金子信雄 ほか

宇和島ロケの作品は戦後に限っても10数本ある中で、全篇宇和島ロケといえるのはこの『南海の狼火』（昭和35年/日活）しかなく、当時の風俗・歴史を知ることができる貴重な作品。監督の山崎徳次郎、日活社員だった吉満屋功の二人が宇和島出身であり、宇和島人の情熱がこもった作品といえるかもしれない。
 宇和島娘に扮した浅丘ルリ子の実家が太浦の大塚真珠。流れる役アキラ（小林旭）とのデートコースが宇和島城、滑床、須賀川河畔など。夏祭りシーンでは、袋町、新橋、恵美須町各商店街の屋根なしアーケードも懐かしい。
 宇和島城は、『大番』ではギューちゃん（加東大介）と芸者役の青山京子が寄り添うカットが撮られ、宇和島ロケ作品では必ず描かれる定番のデートスポットだった。

（文・写真提供 田部 司）

大竹 伸朗 おおたけ しんろう 1955年東京生まれ

主な個展

- 2019「大竹伸朗 1975-1989」：Take Ninagawa（東京）
 「大竹伸朗 ビル景 1978-2019」：熊本市現代美術館（熊本）
 水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城）
- 2016「Shinro Ohtake: Paper - Sight」
 ：シンガポール・タイラー・プリント・インスティテュート（シンガポール）
 「時憶」：Take Ninagawa（東京）
- 2014「大竹伸朗」：パラソルユニット現代美術財団（ロンドン）
- 2013「大竹伸朗:憶速」：高松市美術館（香川）
 「大竹伸朗展：ニューニュー」：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）
 「焼憶展」：INAX ライブミュージアム 世界のタイル博物館（愛知）
- 2012「大竹伸朗」：アートソングエ・センター（ソウル）
- 2007「大竹伸朗 路上のニュー宇宙」：広島市現代美術館（広島）
 福岡市美術館（福岡）-2007
- 2006「大竹伸朗 全景 1955-2006」：東京都現代美術館（東京）

「大竹伸朗 OFFICIAL WEBSITE」 ohtakeshinro.com

大竹伸朗



東京 2020 公式アートポスター
 大竹伸朗作「スペース・キッカー」

国内外のアーティスト19組の一人に選ばれ、このポスターは宇和島市役所にも飾られている。

大和田建樹と活字の中の宇和島駅



大和田 建樹（おおわだ たけき）
1857～1910 宇和島市出身
詩人、作詞家、国文学者
代表作
「鉄道唱歌」「故郷の空」「青葉の笛」
など

我が国の鉄道史を語る上で避けて通れないのが大和田建樹（以下：建樹）ではないだろうか（「たてき」と読む人がいるが「たけき」が正しい）。

建樹は短い生涯で著書99種151巻、唱歌などの作詞千三百余りを残して、これは当時の文壇では群を抜く数字だという。そして、明治33（1900）年に作詞した『鉄道唱歌』が大ヒットし一世を風靡した。『鉄道唱歌』は、明治30年頃、旧知の出版会社「昇文館」の市田元蔵から依頼を受け作詞された。曲は市田が手配した多梅稚と健樹がいつも依頼していた上真行、二人が曲を作ったが、私たちが今も耳にする多梅稚の曲が人気を博し、現在も歌い継がれている。

しかし、まもなく昇文館が倒産し、

『鉄道唱歌』は、お蔵入りになってしまふ。その後、大阪の楽器店へ鉄道唱歌全六集の版權が譲渡され、広く全国に知れ渡ることになる。

『鉄道唱歌』は、全5集・334番（1962年に発見された「北海道唱歌」や「伊予鉄道唱歌」を本編に含め全6集・374番、または、全7集・399番とする説もある）。

この時、宇和島に鉄道が通っていたら『鉄道唱歌』に歌われていたに違いない。

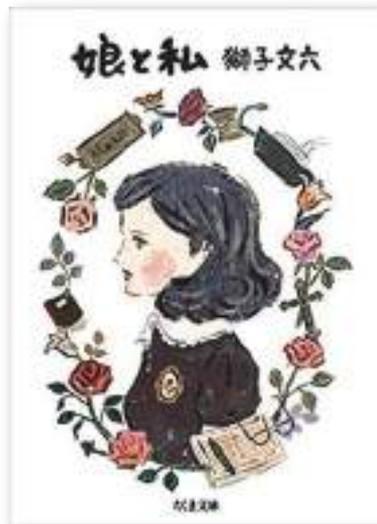
〈有名な第1集1番〉

汽笛一声新橋を

はや我汽車は離れたり

愛宕の山に入り残る

月を旅路の友として



「娘と私」

獅子文六：著 ちくま文庫：刊

獅子文六（1893～1969年）

小説家、演出家

1945年から約2年間、津島町岩松に滞在し『てんやわんや』、『大番』を執筆。

ちくま文庫から復刻した『コーヒーと恋愛』『七時間半』、『てんやわんや』、『娘と私』『悦ちゃん』がいずれも重版されている。

獅子文六（以下：文六）の「娘と私」は文六の私小説と言えるもので、昭和20（1945）年の年末に、二番目の妻、静子（小説内では千鶴子）と娘の巴絵（小説内では麻理）と3人で、静子の実家（宇和島市津島町）に東京から六日間かけて疎開する様子が描かれていている

「（前略）五日目の夕に、鉄道の終点である宇和島駅に着いたのだが、こんな遠い涯へきても、戦災の焼野原を見るのが、悲しかった。物置小屋のような、急造の駅に、千鶴子の父親と甥が、迎えていた。（後略）」

文六は以降、約2年間津島町で生活し、その間の体験や見聞が戦後最初の新聞連載小説となった『てんやわんや』、『大番』などの作品に取り

※宇和島駅は昭和20（1945）7月29日の空襲で焼失している

入れられ、いずれも映画化されている。また、「娘と私」も昭和36（1961）年、NHKの朝の連続テレビ小説の第一作目として1年間放送され大ヒットした。



※昭和20（1945）7月29日の空襲で焼失した後、簡易な仮駅舎の宇和島駅（写真提供：河野藤夫）

宇和島駅周辺あれこれ

清家 清設計の「大和田健樹詩碑」



現在の「大和田健樹詩碑」周辺の様子

間照明で幻想的に浮かび上がるよう設計されたが現在は水も照明もなく寂しい限りだ。

設計者の清家清は、1976年のネスカフェゴールドブレンドのCMに登場し建築家という職業を世に印象付けた。父は吉田町喜佐方出身で宇和島中学（現宇和島東高等学校）を卒業後、機械工学者の清家正。息子は慶應義塾大学の塾長を務めた経済学者の清家篤。同会会員で日振島出身の横濱雄幸さんによると清家氏は元々宇和島市の日振島の庄屋の流れをくむ家系で、息子の篤氏とは現在も交流があるという。

昭和40（1965）年に宇和島ライオンズクラブの10周年を記念して建設された「大和田健樹詩碑」が駅前の一角にひっそりとたたずんでいる。

この詩碑は、宇和島出身の東京工業大学教授で日本を代表する現代建築家の清家清が設計し、題字を国鉄の前総裁だった十河信二、鉄道唱歌、散歩唱歌の揮毫を松山出身で哲学者の安倍能成、撰並書を同クラブ会員で当時、衆議院議員だった高島亀太郎がそれぞれ担当した（宇和島ライオンズクラブ10周年記念誌より）。

当初、詩碑の周囲には水がはられ夜



清家 清 1918～2005年

日本における代表的な現代建築家。戦後すぐに「森邸（1951年）」を発表し、機能主義による都市住宅のプロトタイプを提案し、住宅をはじめとする明瞭で軽快な作品で日本の伝統的モダン美を独自の解釈ではじめて形にした。

勲二等瑞宝章及び紫綬褒章受章工学博士（東京工業大学）
主な称号 東京芸術大学名誉教授、東京工業大学名誉教授、日本建築学会名誉会員、東京建築士会名誉会員

松山恵子の「お恵ちゃん電話ボックス」



宇和島駅コンコースの特設ステージで歌う松山恵子

宇和島駅には平成12（2000）年11月にS L列車「坂の上の雲号」「花神号」の運行にあわせて行われた「松山恵子コンサート（宇和島での最後のコンサートとなる）」を記念して、「ヒット曲「お別れ公衆電話」にちなんで「お恵ちゃん電話ボックス」が設置された。当日、卯之町駅から宇和島駅までS L列車「坂の上の雲号」に乗車した松山恵子は宇和島駅コンコースで「お別れ公衆電話」を熱唱した。

（松山恵子の写真は幼馴染で親友の佐藤美智子さんから、ご提供いただいた）



松山恵子 1937～2006年

庶民派で知られ、「お恵ちゃん」の愛称で幅広いファンに親しまれた。裾の幅が広いフリフリのドレスにハンカチがトレードマーク。1955年、「宵町ワルツ」「マドロス娘」でデビュー。1956年に「十九の浮草」が大ヒットし、一気にスターダムにのし上がった。

『NHK 紅白歌合戦』にも1957年から通算8回出場（そのうち、7回は連続出場）。1995年には第37回日本レコード大賞功労賞を受賞。



改札を抜けて左側に設置されている「お恵ちゃん電話ボックス」

貴重な鉄道遺産

宇和島駅東側の南予地方局近くにある「宇和島運転区」には、扇の形に広がった全国に12しかない「扇形機関庫」をはじめ転車台や給水塔など鉄道遺産といえる貴重なものが残っている。

また、この扇形庫の柱には古いレール（明治時代の輸入レール）が利用されていて、建設当時の鉄材確保の苦心がうかがい知れる。

宇和島運転区では例年、11月に「鉄道の日」にちなんだ「鉄道の日ふれあい祭り」が開催されているが、1月の暴風で建物の損傷がひどく、現段階では開催できるとどうか未定。



全国現存 12 のうちのひとつに数えられる扇形機関庫
扇形機関庫内にある蒸気機関車の修理に使っていた「ビット」と呼ばれるところ →



扇形機関庫の柱に使われている 1885 年製イギリスのチャールズ・キャンメル社製のレール



今も現役の転車台と製造プレート
「鐵道省 横河橋梁製作所 大阪工場 製作 昭和拾貳年」の文字が読める



撮影・鉄道カメラマン 坪内政美

予告
苦境に立つ
予土線にエール!
次号より連載特集
決定!

宇和島から高知県窪川までの沿線に住む人々の貴重な足である「予土線」は、「100 円稼ぐのに 1,159 円かかる」と言われる赤字路線で存続の危機に瀕している。

協力/JR四国 宇和島駅 宇和島運転区 大竹伸朗 佐藤美智子 田部 司 松本敏幸 横濱雄幸 Family Salon セイコウ (敬称略)

撮り歩きなんよ

アマチュアカメラマン北濱一男が撮りためた南予の風景



「小越のしだれ桜」へは、宇和島から国道320号を日吉夢産地方向に走ると左に程内製材所があり、ここから正面に見えます。すぐそばの小越バス停のを左に入ると桜です。

「小越のしだれ桜」

鬼北町内には数本のしだれ桜がありますが、今回紹介するのは樹齢60年の「小越のしだれ桜」です。

鬼北町川上の小越時夫さんが中学生の頃に京都の有名なお寺のしだれ桜の種を取り寄せ、小越家の墓地のそばに植えて大切に育てています。撮影に行った時、小越さんとしばらく桜談義をしていると「花をつけると桜を見に来てもらうけど、お墓のそばの桜を嫌う人もいますよ」と言われたので、私が「桜どころ福島県で横綱と謳われる「塩ノ崎の大桜(樹齢600年)」は、墓地の中央に桜の大木が立っていますし、全国の有名な桜の中には、お墓の傍や祠を祀っているものは少なくありませんよ」とお話しすることがありました。それからしばらくして「小越のしだれ桜」と命名されたと記憶しています。例年、開花時期は3月27日～30日頃ですが、暖冬の影響で今年は早くなるかも知れません。



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめるが、本格的な写真歴は約20年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。撮り歩きなんよ(ブログ) <http://uwatu.blog135.fc2.com/>

パフィオうわじま開館1周年記念
仙台フィルメンバーによる名曲の午後

■日 時 4/18(土) 開場:13:30 開演:14:00
■会 場 パフィオうわじま ホール(当日は500円増)
■入場料 一般1,500円 高校生以下1,000円



ペアチケット
読者プレゼント
先着3組

宇和島信用金庫の各営業店にお申込み
いただき、先着順とさせていただきます。

※万が一新型コロナウイルス対応により中止の場合はご容赦ください。
チケット販売:パフィオうわじま・きさいや広場
お問合せ:パフィオうわじま Tel.0895-49-5922

第25回宇和島市長杯ヨットレース
パールカップ2020

■日 時 5/3(日) スタート:10:00
コース:九島〜遊子沖合 ※レース観戦は九島の裏側でどうぞ。
中四国最大規模の参加艇数を誇るパールカップ。カラフルなセイルで走るレースを間近で観戦してみませんか?



宇和島ヨットクラブ
<http://www.pikara.ne.jp/tokuda/>

おしらせ

一人と芸術—
生誕140年 中井コッフ展

コッフ(謙吉)は多趣味、多芸で特に短歌句を愛し、歌人として名を馳せるが絵画にも優れた作品を数多く残している。更に書の面でも優れた才能を発揮し独特の書風を完成させた。

また、コッフは浪曲の名づけ親としても知られ、明治29(1896)年「そのかみ」の題で浪曲に関わる調書と短歌句三首を霸王樹(はおうじゅ)に発表している。



中井コッフ(謙吉)
1881~1962

■会 期 5月末~6月中旬
■会 場 御殿町画廊 宇和島市中央町(新橋商店街)
■主 催 うわじま文化会議

お問合せ/御殿町画廊 福島健二 Tel.0895-22-3817

畦地梅太郎・森本猛展

■会 期:5月15日(金)~8月3日(月)
AM9:00~PM5:00(入館はPM4:30迄)
休館日:火曜日(祝休日の場合はその直後の平日)*5/5(火)は開館

宇和島市三間町出身の版画家畦地梅太郎。宇和島市出身で肌で感じた記憶や観てきた心の風景を描く森本猛。

観る者に静かに語りかけてくる二人それぞれの表現の魅力をご鑑賞ください。



森本猛「時季を刻む」(2019年)

お問合せ/畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館
宇和島市三間町務田180-1「道の駅みま」内
Tel/Fax.0895-58-1133

畦地梅太郎記念美術館



<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/azechi-iseki-museum/>

試練を背負う子どもたちへ絵本と真珠のお守りを届けよう!

この度は皆さまからのご支援を賜り深く感謝申し上げます。
のりこえるべき試練に向き合う人たちの
まえを向くための力になりたいとスタートさせたこの活動。
ちいさな子どもたち、故郷の産業、故郷を離れて生きる私たち。
がいにつらっても、しんどおても前を向ける気持ちを持てる
すてきなプロジェクトにします。
きっとみんながつながって互いに支え合えると信じて。

ジュエリーデザイナー 大石 直樹 / 絵本作家・イラストレーター ありま 三なこ

クラウド
ファンディング
成立しました

活動報告はこちら



FLOWER SHOP NISHIKAWA フラワーショップ西川

ふるさとの
カタチ



モン・ファボリ（支店）の店内



モン・ファボリの店内



本店の花鉢コーナー



左が本店、右がモン・ファボリ

本店／西予市宇和町卯之町 3-201

TEL.0894-62-2187

営業時間／ 8:30～19:00（日・祝 18:00 まで）

定休日／年中無休（正月1～2日）

駐車場／あり

ナチュラルフラワー

（フジ宇和店内）

TEL.0894-62-6687

定休日／年中無休

駐車場／あり



フラワーショップ西川



<http://fsn-8787.com/>



代表取締役
西川 宏志さん

「フラワーショップ西川」は、西予市宇和町商店街の本店、フジ宇和店内の「ナチュラルフラワー」、一昨年、本店横にオープンしたドライフラワー専門店「モン・ファボリ」と3店舗あります。「素敵なお花は、いつもここから・・・」を基本理念に生花・鉢物・ドライフラワー・プリザーブドフラワーなどカジュアルからギフトまで幅広く商品を取りそろえています。また、月1回フラワーデザインスクールも行い、花の魅力を多くの方にお伝えしています。代表の西川宏志は、数々のコンテストで受賞歴がありスタッフも明るく楽しい雰囲気のお店です。学校・グループでの出張スクールやイベント等にも参加し地域に密着した花の普及にも取り組んでいますので気軽に相談下さい。

お客様の想いをお花に込めて喜びや感動を与えられるフローリストとしてこれからも素敵なお花をお届けします。



春のコースの前菜と焼き物

MICHELIN



すき焼き風鍋



個室



雰囲気のある玄関

宇和島市本町追手 2 丁目 6-10

TEL.0895-22-1321

営業時間 / 17:30 ~ 22:00

定休日 / 日曜日

料理 / コース料理 4,500 円 ~

※ご予算等お気軽にご相談ください



店主 三原 啓史さん

開業して26年間、「変わらない事」「食材や味に一つ一つ真面目に向き合い、心を込めて提供すること」...を目標にしてきました。また、器にも気を配り様々な場所へ足を運び選んでまいりました。

今後も「型にはまった和食」にはこだわらず、新たな創作料理を考えながら、お客様をもてなす店づくりをしてまいります。

一度、「馳走三原」のこだわりの料理を召し上がってみてください。



南予会館前の記念写真【昭和5（1930）年頃 宇和島市枅形町】

写真提供：石崎 勝氏

一世紀近く前、日振島に漂着したこの丸木舟を伊達図書館（現桜町付近）の庭に運び展示したのは、同島明海出身の森

た。一世紀近く前、日振島に漂着したこの丸木舟を伊達図書館（現桜町付近）の庭に運び展示したのは、同島明海出身の森

た。一世紀近く前、日振島に漂着したこの丸木舟を伊達図書館（現桜町付近）の庭に運び展示したのは、同島明海出身の森

モテーフとして愛用してきた。その間、舟の本来の故郷が鹿児島県・奄美大島と判り、「送別展」に至ったのである。丸木舟は同地の博物館に保存展示されるため里帰りして行った。

大正12（1923）年、南予地域の発展と青少年教育のため、社団法人南予文化協会を発足させた天涯（上写真前列右から4人目は、主事として昭和3（1928）年南予会館建設を計画、浄財を募って同5（1930）年6月に実現した。一方、宇和島市内に「禁酒同盟会」を結成し、禁酒・禁煙運動を推進した。会館の夏期講座で天涯から直接指導を受けた郷土史家の故林春孝さん（大正10（1921）年生まれ 和霊元町）は、「青少年の健全な育成には酒とタバコは厳禁と叩き込まれ、おかげで大病をしたことがない」と話していた。残念ながら、天涯が活動拠点にした南予会館は昭和20（1945）年7月12日深夜の空襲により伊達図書館等とともに全焼した。天涯が知ったら悲嘆はいかばかりかと推察するが、せめてもの救いは天涯その人が昭和9（1934）年8月10日に56歳ですでに病没していたことだ。当時、二大文化施設であった南予会館、伊達図書館を含め町の大半と多くの人命を失ったことが、戦後という大きな転換期の中で宇和島の文化を衰退させた一因かもしれない。住吉小学校の校舎入口に森岡天涯の顕彰碑と、校庭には「大きな石は私が

誰も誰も知らない 遠い遠い南の島に行つてみたい 海辺では最初にカヌーに乗ろう 自分ひとりで作った 真っ白なカヌーに・・・

この拙い短文をいつ書いたかは忘れてしまったが、幼い頃から私の空想の世界のひとつに、海の彼方にボートと浮かび上がる南の島があった。思うにそれは、ごく幼い頃に城山の南麓、南予護国（鶴島）神社の片隅の倉庫と

石垣の間に、ポツンと忘れ去られたように置かれていた古い丸木舟を見たことが影響しているかもしれない。

年を経るに従い次第に思いが薄れてきた記憶が呼び覚まされたのは、昨年（2019）年11月8日から3日間、画家宮川淳一郎さん（79歳和霊町）宅で行なわれた「subune（スブネ）送別展」によってであった。宮川さんは、平成19（2007）年に同神社から舟を自宅に引き取り、長年絵画作品の

岡天涯（本名・捨松 明治12（1879）年〜昭和9（1934）年）といわれている。天涯は明治33（1900）年21歳で渡米。42歳で帰国後は生地日振島に戻り、社会教育活動に尽力してゆく。

大正12（1923）年、南予地域の発展と青少年教育のため、社団法人南予文化協会を発足させた天涯（上写真前列右から4人目は、主事として昭和3（1928）年南予会館建設を計画、浄財を募って同5（1930）年6月に実現した。一方、宇和島市内に「禁酒同盟会」を結成し、禁酒・禁煙運動を推進した。会館の夏期講座で天涯から直接指導を受けた郷土史家の故林春孝さん（大正10（1921）年生まれ 和霊元町）は、「青少年の健全な育成には酒とタバコは厳禁と叩き込まれ、おかげで大病をしたことがない」と話していた。残念ながら、天涯が活動拠点にした南予会館は昭和20（1945）年7月12日深夜の空襲により伊達図書館等とともに全焼した。天涯が知ったら悲嘆はいかばかりかと推察するが、せめてもの救いは天涯その人が昭和9（1934）年8月10日に56歳ですでに病没していたことだ。当時、二大文化施設であった南予会館、伊達図書館を含め町の大半と多くの人命を失ったことが、戦後という大きな転換期の中で宇和島の文化を衰退させた一因かもしれない。住吉小学校の校舎入口に森岡天涯の顕彰碑と、校庭には「大きな石は私が



【現在の様子】丸之内「御浜公園」を背にして、二筋明倫町寄りの住宅街の一角が「南予会館」があった辺りになる。



田部 司 たなべ つかさ

プロフィール 昭和25（1950）年生まれ 宇和島市在住 日本眼鏡技術者協会会員 シネマニア宇和島
タナベ昭和館主宰（ブログ公開中 <http://www.uwajima.com/tanabe/syowa/syowa.html>）

※1) subune 送別展 宮川さんが subune（丸木舟）をモチーフにして写実的なペン画や水彩、抽象的な油彩、コラージュなどさまざまな手法で表現した50点近くを展示した作品展。

※2) 森岡天涯顕彰碑 はじめ「南予青年の家」に建立されたが、のちに住吉小学校に移設された。撰文は天涯の友人の斉藤响（さいとう しょう 1898～1989 哲学研究者）が寄せた。また、日振小学校には天涯の「だまされても だます人になるな」の遺訓碑がある。

※3) 玉川学園 60万㎡弱の広大な敷地に幼稚部から大学院まで約1万人の生徒が集う総合学園。東京都町田市。同園の掲げる「全人教育」や「労作教育」はほかでは見られないユニークな教育方針。

【参考資料】

- 有間重喜『航跡』（1984年3月30日 盛文堂）
- 三輪田俊輔「丸木船のある図書館」（1994年10月19日 愛媛新聞〈四季録〉）
- 木下博民『評伝 森岡天涯』（2010年12月20日 創風社）

運ぶから、小さな石は君たちが運びなさい」という意味の彼の精神を現わす「大きな石は俺にもてころ」の有名な石碑がある。敬虔なクリスチャンだった天涯の教えは、私が高校から青春時代を過ごした東京の玉川学園の教育精神と共通した部分が多いと改めて思う。

文 / 田部 司

県内唯一の国重要無形民俗文化財 伊予神楽 いよかぐら



毎年7月、和霊神社（宇和島市）の「夏越祭（なごしさい）」で奉納される「伊予神楽」

撮影 / 北濱一男

大本敬久

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

神楽の太鼓が鎮守の森に響き渡る。南予は神楽が盛んな地域。春夏秋冬、どこかの神社で舞われている。宇和島市周辺の伊予神楽、八幡浜市の川名津神楽、鬼北町の富母里神楽、大洲市の藤縄神楽等々、地域の中で庶民に親しまれながら、これらの郷土芸能は継承されてきた。

神楽とは、神座かむくらを設けて神々を勧請し、その前で採り物を持つたり、仮面をつけたりして物語調の演目を舞うことによって神を慰め、悦ばせる芸能。同時に庶民にとっては安寧や厄払いを祈願するために奉納される芸能でもある。

現在、宇和島市周辺の神社の祭事で演じられる伊予神楽。創始については、伊吹八幡神社に嘉元3年（1305）の銘がある鬼面、猿田彦面（県指定文化財）が所蔵されていることから、一説には鎌倉時代にさかのぼるといわれる。『伊吹木山記』には元和元年（1615）に藩主伊達秀宗ひだまねが八幡神社参詣の折、神楽を執行したとの記録があり、また、神楽本としては県内最古とされる元文3年（1738）成立の『伊予神楽舞歌并次第目録』も伝来しており、江戸時代初期から中期には現在のように



おおもと たかひさ

1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論
著書に『民俗の知恵』（創風社出版）等

な形が整っている。

この伊予神楽の特徴は、舞手が氏子ではなく神職によって継承されている点にある。神職神楽は明治3年（1870）に政府により禁止され、多くの神楽の担い手は氏子に移っていくが、伊予神楽はそれ以前の伝統をそのまま継承した形となっている。古い神楽本の存在と江戸時代から続く神職神楽の伝統から、地域の郷土芸能を代表するものと評価され、昭和56年に県内で唯一の国重要無形民俗文化財に指定されている。

現在、伊予神楽は「伊予神楽かんなぎ会」により保護、継承され、悪魔払大蛇之舞（鬼）、弓之舞、内舞（山の神）、火焼之舞等の演目が奉納され、多くの人びとを楽しませている。

2千万円問題や預金金利の低下により「国民年金だけで生活できるか不安」「老後の備えは何をしたら良いかわからない」などと将来に対する不安を抱く人は多いと思います。今回は、そこで登場した「国民年金基金」と「iDeCo」についてご紹介したいと思います。

その前に、年金について少しおさらいをしてみましょう。

我国の年金制度は、3つの年金から構成されています。まず一つは、20歳以上の国民が加入する国民年金で、これは加入期間の長さによっ

てもらえる金額が決まる仕組みです。

次に民間のサラリーマン・公務員等が加入する厚生年金保険、自営業者・フリーランスが加入する国民年金基金があります。厚生年金保険は強制加入のため、選択の自由はありません。一方、国民年金基金は任意加入です。加入すると追加の掛金の負担が生じますが、将来受取れる年金額は増加するというメリットがあります。

そして最後に、従業員を対象として企業が独自に運営する企業年金制度があります。

「人生100年時代」の到来

- 65歳以上の方の平均余命は
男性 19.70歳 (84.70歳)
女性 24.50歳 (89.50歳)
(「平成30年簡易生命表」厚生労働省より)
- 2000万円問題・預金金利低下など

将来への不安に対する備え

iDeCo

国民年金基金



国民年金基金

- ・国民年金基金とは、自営業者などの方のための老齢基礎年金に上乗せる公的な年金制度です。
- ・**終身年金が基本**のため、生涯にわたって受け取れる確定給付型です。
- ・20歳以上60歳未満の**自営業者**や**フリーランス**など**国民年金の第1号被保険者**および**60歳以上65歳未満の方**や**海外に居住されている方**で**国民年金に任意加入されている方**ならどなたでも加入できます。

●掛金について

- ・1口単位で加入可能（1口あたりの掛金は性別・年齢によって異なります）
- ・掛金の上限は68,000円以内（加入者がiDeCoにも加入している場合、合計で月額68,000円が上限）

●税制優遇

- ・掛金は全額所得控除（社会保険料控除）の対象
- ・受け取るとき「公的年金等控除」の対象

iDeCo イデコ

- ・iDeCo（イデコ）とは、確定拠出年金法に基づき運営される国の制度で、老後にに向けた資産形成のひとつです。
- ・20歳以上60歳未満の**ほぼ全ての方**が加入可能です。
- ・**一人一口座**
- ・加入者が毎月一定額を積立（掛金を拠出）し、定期預金・保険・投資信託といった金融商品で**自ら運用**し60歳以降に**年金または一時金**で受取れます。

●掛金について

- ・掛金は月額5,000円～（1,000円単位で上乗せ）加入者の職業等によって上限金額が定められている。
- ・掛金の変更は年1回可能です。

●税制優遇

- ・掛金は全額所得控除の対象で所得税、住民税が軽減
- ・受け取るとき
 - 分割（年金）で受取りなら「公的年金等控除」の対象
 - 一括（一時金）で受取りなら「退職所得控除」の対象

※「国民年金基金」「iDeCo（イデコ）」は、宇和島信用金庫でもご案内しております。制度の内容、お申込み手続きなど、お気軽にご相談ください。



歯周病と全身疾患

歯周病は、歯を支える歯茎や骨が壊れていく病気です。歯磨きを怠っていると口腔内の細菌が増殖し、歯垢（プラーク）ができます。これにより炎症が生じ、進行すれば歯を支える土台が壊れ、抜歯をしなければならなくなります。

歯周病は、歯科医療の領域であり、歯科医師が治療を行います。近年、歯周病と全身の疾患との関連が注目されています。

その代表が糖尿病です。糖尿病による高血糖は口腔内の免疫機能の低下、細小血管障害、唾液分泌低下による乾燥をもたらし、細菌の増殖を促し、歯周病を悪化させます。実際、糖尿病の方は約2倍も歯周病にかかりやすく、血糖コントロールが悪いと重症化しやすいことが分かっています。

歯周病も糖尿病を悪化させます。歯周病による慢性の炎症により炎症関連の化学物質が産生され、体に取込まれます。これらの物質は血糖値を下げるインスリンを効きにくく

する作用があります（インスリン抵抗性）。そのため糖尿病が発症、あるいは悪化しやすくなります。

また、歯周病で歯を失ってしまうと、十分に噛むことができなくなり、そのため軟らかいものばかりを食べがちとなり、食生活が偏り、糖尿病悪化の要因となります。歯周病と糖尿病がお互い悪影響を与えるため、この悪循環を断ち切る必要があります。血糖コントロールが良くなれば歯周病も進行しにくくなり、一方で積極的な歯周病治療で血糖コントロールが改善したとの報告もあります。

歯周病と認知機能低下には関連があることが知られています。歯周病で歯を失い咀嚼機能の低下が起こると、脳への刺激が減り、認知機能の低下に繋がります。アルツハイマー型認知症の脳で認められるタンパクが、歯周病の歯茎でも産生されているとの報告もあります。

歯周病の歯茎から出る物質の中には子宮収縮作用がある物質も含まれ

ています。そのため妊娠中の方が歯周病を有していると、低体重児や早産の危険度が高くなることが分かっています。その他にも動脈硬化、慢性関節リウマチ、慢性腎臓病なども歯周病と関連があるとの報告があります。

日々の食事に大切な歯も、管理を怠れば歯周病となり、さらには全身の疾患に悪影響を与えることとなります。そのため、全身疾患で治療中の方で歯周病が疑われたときには、内科の方から歯科へ紹介することもあります。

歯磨き時に出血する、歯肉がかゆい、痛い、赤く腫れている、歯の間に隙間がでてきた、口臭がある、などの症状は歯周病のサインです。放置せず、早めに歯医者さんに行きましょう。

歯科治療では出血を伴う処置をすることがあるため、血栓予防のための薬を服用中の方は、処置の後に止血困難となる場合があります。最新の治療ガイドラインでは、血栓予防



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

薬の服用は中止せず、服用を継続したまま抜歯し、しっかり止血することになっています。このようなお薬を服用されている患者さんは、歯科治療前に必ず歯科医師や内科医師へ服用薬についてご相談ください。でも大事なことは予防です。日々の歯磨きと、定期的な歯科でのチェックを行いましょう。



ふるさとの味が美味しい味!

広島に転居して2年が経ちました。広島に知り合いはほとんどいませんが、小中学校の同級生が一人おり、大変お世話になっていま

す。彼女と一緒に宇和島に帰省するチャンスがあった時のことです。彼女の車にはクーラーボックスが積まれていました。もちろん、ふるさとの味であるじゃこ天やさつま汁、麦みそを購入して帰るためです。ここまでは、よくあるお話ですね。私が驚いたのは、ここからです。車に積まれていたのはクーラーボックスだけではありませんでした。鍋に割りばし・・・「なんに使うんだろ?」疑問が浮かびました。彼女の目的は「菊屋のちゃんぼん」のお持ち帰りでした。宇和島から広島までのお持ち帰りで、お持ち帰りに対応しているお店では麺をつゆに入れて渡してくれる

そう、麺が伸びないように割りばしで麺を取り出し鍋に移し、つゆとは別に持ち帰るのだそうです。それでも、出来立ての味は味わえないと思うのですが、彼女にはそんなこと問題ではありません。子供の頃から食べなれた「菊屋のちゃんぼん」の味が広島の自宅でも味わえるチャンスなのです。家族にも自慢して帰省の度に食べさせているので、家族も待ちわびています。

もう一つのお持ち帰りは「かみなりのお好

み焼き」でした。広島といえば日本で一番のお好み焼き有名県です。そこで食べるお好み焼きより、食べなれた宇和島のお好み焼きが食べたいのです。そうです、多くの人々にとって食べなれた味が美味しい味なのです。

私が管理栄養士として病院に勤務していた時にも経験したことです。その土地で使われているイリコや花かつおなどのだし、醤油やみその種類は地域によって違いがあります。ちよっと便利なものを使ったり、変更したりすると必ず患者さんが「味が変わった」「前のほうが美味しかった」と意見がありました。

味覚については、生まれたときから、甘味、酸味、塩味、辛味、旨味を感じるといわれています。離乳食の食体験によって味覚はより発達し、嗜好が形成されていきます。幼い頃から食べた食材の味が成長してからの食生活を左右することもあります。この時期にしっかりと様々な食品を食べさせて多彩な味を経験させることが重要です。幅広い味覚を作り上げることが将来、偏食をしない大人になることを支援するのです。親の役割は大きいですね。味覚だけの問題ではありません。子供のうちから考えられた食生活することは、その後の人生において健全な心身を培うことにつながります。健全な心身を持つことは自

分の夢を叶えることに近づきます。そして、自分のことだけでなく、他者の健康を気遣うことにもつながります。

味覚の発達と関連して地域で特色のある食文化の継承が挙げられます。宇和島で言えば、さつま汁、お寿司、鯛そうめんなど以前は家庭でもよく作られていた料理の伝承です。日本人のライフスタイルが変化し、価値観が変化する中で食への考え方や食事作りにかける時間も変化しています。家庭では手の込んだ料理を時間をかけて作ることが少なくなりました。一方、何でも食べられる食環境の中で「ばちそう」という概念が薄れてきています。全国各地でも同じ味に慣らされた舌は徐々に伝統の味を求めなくなるように思います。そういった意味では前述の友人のような例は少なくなるのかもしれませんが。

病院の管理栄養士として勤務していたころ、行事食として、ふかの湯ざらし、さつま汁、ふくめん、じゃこ天やかまぼこの入ったちらし寿司、かつおのたたきなど地域の食文化や地域で収穫された食材を使用した料理を提供してきました。だしにはインスタントを使用せず、地元の商店から購入したいりこや花かつおを使用していました。家庭で調理しづらくなってきたものを集団給食の現場で作って

いくことも管理栄養士の大事な使命であると考えていたからです。

広島に来てから大学と同じ地域に住む高齢者と学生が食を通じて交流するプロジェクトチーム「食でつながる元気な町づくり」を立ち上げて活動しています。そこで、地域のお寿司「一合ずし」が紹介されました。このお寿司は田植えや稲の収穫を祝う秋祭りなどに食べられてきたお寿司です。一合の米を使用し、野菜や酢魚と合わせたものでした。現在では米の量を減らし、具材は多くなっています。地域の味を継続している重要性をここ広島でも高齢の方々に教えていただきました。



広島修道大学
健康科学部 健康栄養学科
教授 藤井 文子
宇和島市出身
きものを楽しむ会々長



専用の木枠に入った「一合ずし」

お気楽 俳句

外を歩いて「吟行」をしないと俳句は作れないので
 しょうか？ いえいえ、そんなことはありません。
 病気や介護等で外出できない人も身体の自由が利
 かない人も俳句を楽しめるんです。そんな句を『おウ
 チde俳句』の本および『おウチde俳句大賞』の入選句
 より紹介します。

リビング

ホットレモン掃除機ルンバ走らせて*1 とりとり
 居間に咲く牡丹ぼたんのような母がいる*2 江戸川散歩

台所

芋虫わらのシンクの端に来て戻る*1 小泉岩魚
 藁わら抜きてがらんとどうたる目刺かな*1 中山月波
 ぶった切るキャベツの破片窓につく*2 豊田すばる

寝室

まばたきで礼せし妻の毛布替え*2 水田千種
 春寒はるさむや死にきれぬほど散らかりぬ*2 こま
 さへづりは礫つぶて寝返りの臉まぶたに*2 佐藤儒良

玄関

吹雪く日のセールスマンを入れにけり*2 大谷正太
 夕虹ゆづりや我が子を比べぬと誓う*2 荒谷恵友美

風呂

爪立ててもつと柚子湯ゆずゆにしてあげる*2 松田夜市
 石鹼せっけんは形失ひ春の闇*1 桂奈

トイレ

風邪の夜や雲踏むやうに行くトイレ*2 小野更紗
 花びらの触れて勝手に開く便器*2 大塚迷路

*1 『おウチde俳句』(夏井いつき・2018年・朝日出版社)
 *2 おウチde俳句大賞(朝日出版社主催)

<https://www.asahipress.com/special/>

ouchidehaiku-happyo/



絵：律川エレキ
 1966年宇和島市生まれ
 2000年頃より俳句新聞
 や俳句マガジン等に挿
 絵を描く。
 映像作家 奈良市在住

おすすめの本

鬼滅の刃 集英社 ①～⑪ ¥440 (税込) ⑫～⑲ ¥484 (税込)

全国の書店で棚が空っぽになるほど爆発的な売れ行きのコミック(漫画)です。昨年秋からお問い合わせが続き、半月に一度の重版で入荷してもすぐに在庫切れになり、今も次の重版を待っていただいています。

主人公・炭治郎が家族を殺した「鬼」や「鬼にされた妹」を人間に戻す方法を探すために戦う姿を描いた物語ですが、全編を通して流れる家族愛・仲間との絆が大きな共感を呼んでいるようです。

2020年1月にはシリーズ累計発行部数は4000万部を突破しました。アニメ化に続き映画の公開も予定されていて社会現象化しています。

長い書店人生ですが、こんな商品は初めてで、本離れが叫ばれる中、本当に嬉しい悲鳴です。

協力：岩崎書店 宇和島市錦町4-16 TEL.0895-22-0528



つなぐ美術館



作品名：『菜の花』（油彩）
作者：古島 紫折（大人クラス）

この教室と共に40年の大ベテラン。
遠く、自転車で風を受け通われる。
どの色にも混ざる特有の白。
やわらか絵の空気感は白の風か。



作品名：『中華鍋』（鉛筆）
作者：佐々木 理沙（大人クラス）

春、りさちゃんはひとり旅立った。
CGの勉強に夢は膨らむ。
手で描いたここでのデッサン、
感触を忘れないでとエールを送る。



作品名：『僕の蘭鑄』（水彩）
作者：藤岡 季（子供クラス）

根っからの生きもの好き、とき君。
“自然が好きだから”とはすごい！
サイエンスへのとめどない関心。
注ぐ観察眼はこのランチュウにも。

■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊） 宇和島市本町追手 2-8-6 TEL.0895-22-1104 <https://benibara.webhop.info/> コメント：吉田淳治



作品名：『佛木寺山門』（切り絵）
作者：三浦澄子

瓦の向きや重なりをよく観察して奥行き感の表現が来ている。三浦さんの切り絵はいつも暖かみがある作品



作品名：『風に舞ふ』（切り絵）
作者：宇治原富子

秋季県展で「特選」を受賞。構図、切り口、色にこだわり、工夫とセンスが光る！鯉のぼりが風に悠々と泳ぐ姿がよく表現来ている



作品名：『祈り』（切り絵）
作者：玉井幸子

今回の切り絵は今までの切り絵とは全く違って、ある物を見てではなく、心の中の思い「祈り」が強く表現されていて、思いが伝わってくる作品

■アトリエぱれっと 宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 <https://art-palette.wixsite.com/> コメント：清家 由佳

ライブ情報

2020 SPRING LIVE IN UWAJIMA 松山隆宏

40年に渡る全国でのライブ活動
今年年間150~200本のライブを行う
R69KJACKは1年ぶりの来店！

5/5 (火) 19:00 オープン 20:00 スタート

チケット / 2,500円



■R69K JACK 宇和島市中央町 2-4-8 TEL.0895-28-6069